



t
design & art festival 2019

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

DESIGNART TOKYO 2019 REPORT

DESIGNART TOKYO 2019 報告書



CONTENTS

目次

| | |
|-------|---|
| 03 | CONCEPT コンセプト |
| 04 | RECORD 実績 |
| 05-06 | EXHIBITION 展覧会 |
| 07-09 | OFFICIAL CONTENTS オフィシャルコンテンツ |
| 10 | SALES RECORD 販売実績 |
| 11 | EXHIBITOR 出展者 |
| 12-13 | OPENING EVENT オープニングイベント |
| 14 | DESIGNART CONFERENCE-BRIDGE デザイナートカンファレンスブリッジ |
| 15 | BIG EMOTIONS AWARD ビッグ エモーション アワード |
| 16-19 | TOOLS / SERVICE 制作物 / サービス |
| 20-24 | PRESS 掲載実績 |
| 25 | CREDIT クレジット |



t
design & art festival 2019

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

CONCEPT

コンセプト

EMOTIONS

感動の入り口

東京の街全体がミュージアムになる 10 日間

What

DESIGNART とは

DESIGNART TOKYO 2019

来場者はのべ22万人！

DESIGNART(デザイナーアート)は、機能と美を兼ね備え、日常生活に寄り添い感動を与えてくれるモノやコトを新たに定義した言葉です。その素晴らしさを発信、共有していくための活動そのものの名前であり、“DESIGNART TOKYO 2019”はその活動の発表の場として、2019年10月18日(金)から27日(日)の10日間、世界屈指の超ミックスカルチャー都市・東京の街全体(表参道・外苑前・原宿・明治神宮前・渋谷・恵比寿・代官山・中目黒・六本木・新宿・銀座)をメイン会場に、世界中からデザイン、アート、ファッション、食、テクノロジーなどのDESIGNARTを集めて実施した革新的なデザイン&アートフェスティバルです。

Outline

開催概要

主催

DESIGNART実行委員会

期間

2019年10月18日(金)~27日(日)

参加者団体

国内外から集まるデザイナー、プロジェクト、ブランド、企業、ショップなど

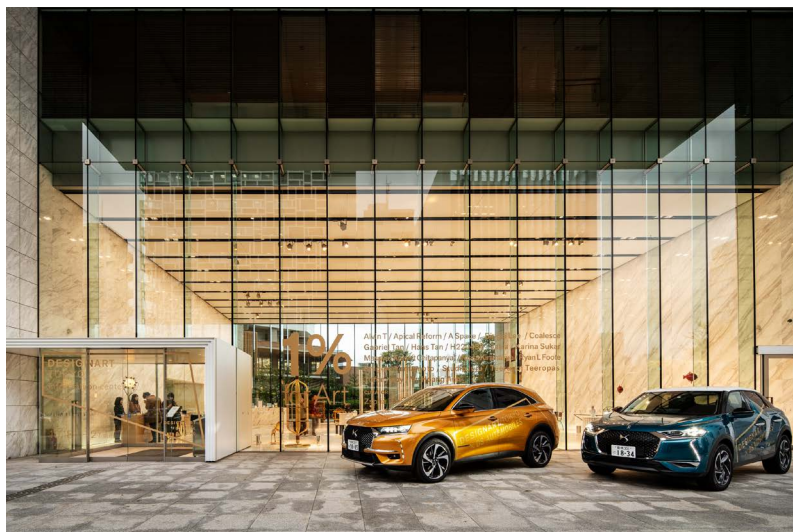
ターゲット

国内外から東京に集まる流通関係者、企業、バイヤー、プレス関係者、デザイン、アートなどに関心のある一般消費者、学生など。

Venue

会場

表参道、原宿、渋谷、六本木、新宿、銀座などに位置する104箇所(147出展者)のショップやギャラリーなど





RECORD

実績

3年目となり展示エリアを広げ、より大規模に作品やプレゼンテーションを展開

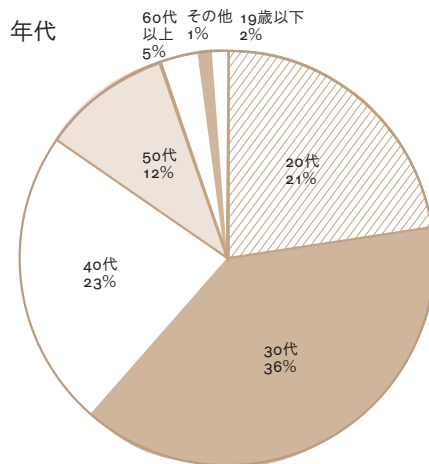
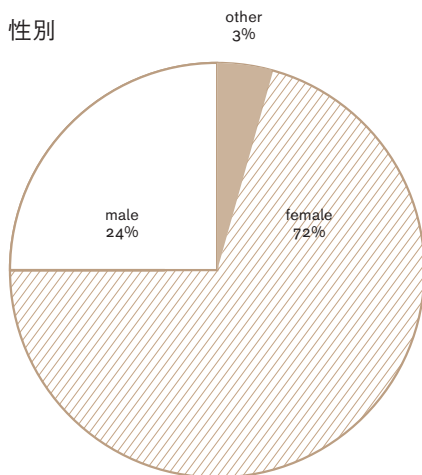
来場者数 **約227,400人** (のべ) 参加クリエイター&ブランド数 (アーティスト、デザイナー、建築家など) **390**

会場数・出展者数 **104会場・147** プレス掲載数 **170媒体** (2019年12月15日現在)

オープニングパーティ来場者数 **約1,000人**
マッチング数 **39組**

オフィシャルタブロイド発行部数 **50,000部**
オフィシャルマップ発行部数 **50,000部**
オフィシャルガイドブック発行部数 **20,000部**
オフィシャルタブロイド配布箇所数 **265箇所**

来場者属性 (アンケート回答者内訳より)



来場者からのご意見

- ・中々普段回れない場所に行く機会ができ、とても有意義な時間になりました!
- ・イベントを通して制度のことも作品のことも知れたので、おもしろい活動だと思う。
- ・I'm very impressed with this event and so happy to have discovered it.I hope to see as much as possible of this inspong work.

EXHIBITION PLAN A

出展者 プランA



VENUE AND
ARTWORK

展示場所と作品の両方をご用意いただいた出展者

CONDE HOUSE / Design: Raw-Edges / Design: Jin Kuramoto

北海道産広葉樹を使用し、二組のデザイナーとともに開発された最新作となる家具シリーズを発表



Masashi Hirao at kolor Minamiaoyama

伝統を継承しつつも、「生きた芸術」として新しく盆栽の世界を広げる作品群が展示され、アパレルのショップ空間と融合



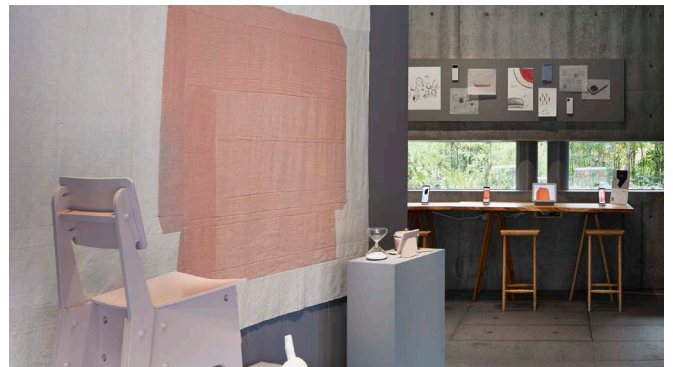
Freedom of driving with your instinct Honda R&D Co.,Ltd. × Shunji Yamanaka

未来のテクノロジー自動運転の先にある「自由運転」の体験を、シミュレーターとディスカッションボードによる参加型で提示



Google Design Studio | comma at 21_21 DESIGN SIGHT Gallery 3

「カンマ」をテーマに、日用品やテキスタイルが展示される中で、テクノロジーが暮らしに溶け込む調和をインスタレーションとして表現



Perrier-Jouët / Andrea Mancuso at PERROTIN TOKYO

ブランドの世界観がアートピースとして形づくられたシャンパーニュグラスをギャラリー空間にて初披露



Yu Nagaba at VOLVO STUDIO AOYAMA

モノクロのイラストレーションと映像による等身大のインスタレーションが、ショールーム内に独自の風景を構築



EXHIBITION PLAN B&C

出展者 プランB&C

マッチングにより展示を実現



展示場所をご用意

VENUE ONLY +



作品をご用意

ARTWORK ONLY

spinoff Mai Sisikura + Mai Yukihiro at DS STORE TOKYO

銅板によるモビールを用いたインスタレーションが、「浮遊する森」として
ショールームに展開



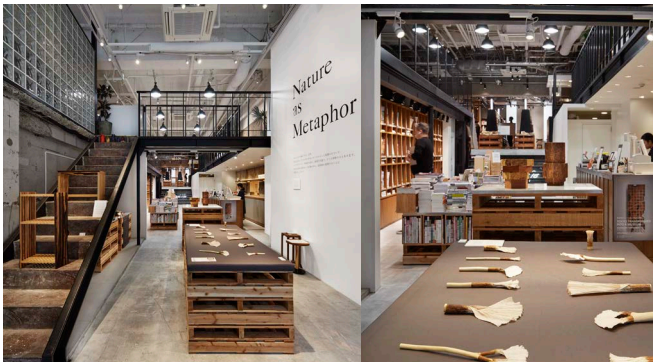
studioart × SOMA DESIGN at B&B Italia Tokyo

マッチングで出会った3者のインテリアとファッションの融合となる展示は、
会期後もクリエイター、ブランド同士のコラボレーションに発展



Chialing Chang at BUNKITSU Roppongi

自然が持つ性質を根底に「木」を素材とした作品を展示し、会場である
書店との連携により、クリエイターのテーマに合わせた書籍も陳列



Fumihiko Sano at Salvatore Ferragamo GINZA FLAGSHIP

ブランド側が持つ素材とファッションの表現に呼応する形で、切り出された
吉野杉の大木にワックスが流し込まれた立体作品が店舗内にて展示



Natsuki Takayama at Brooks Brothers Aoyama

絵画作品と合わせ、ブランドのアイコンでもあるボタンダウンシャツやレップタイ
を用いた立体作品を展示し、両者による特別なコラボレーションが実現



OKURAYAMA STUDIO × Teruhiro Yanagihara × Yuna Yagi at KASHIYAMA DAIKANYAMA

施設内のギャラリー空間に、宮城県に位置する大蔵山から採掘される
「伊達冠石」そのものが持つ力強いプロダクトと写真作品が展示



OFFICIAL CONTENTS

オフィシャルコンテンツ

DESIGNART FEATURE

デザイナー フィーチャー

1% for Art EXHIBITION curated by Design Pier

フェスティバルの顔となる今年の「DESIGNART Feature」は、香港を拠点としてグローバルにキュレーションを行うDesign Pierとコラボレーション。公共建設の建築費の1%をパブリックアートの制作費に充てる文化制度「1% for Art」の実現を後押しするプロジェクトを実施しました。アジア各国で活躍する18名のクリエイターによる約30点の作品が、ワールド北青山ビルのエントランスホールを会場として、クリエイティビティ溢れる世界を創り上げました。



© Nacása & Partners

PARTNER COUNTRY

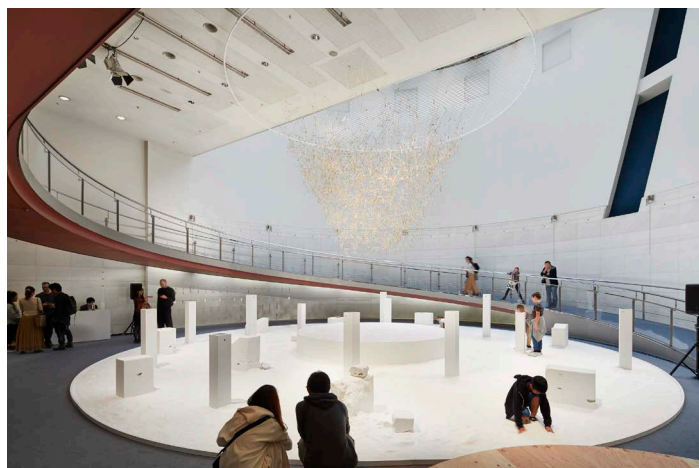
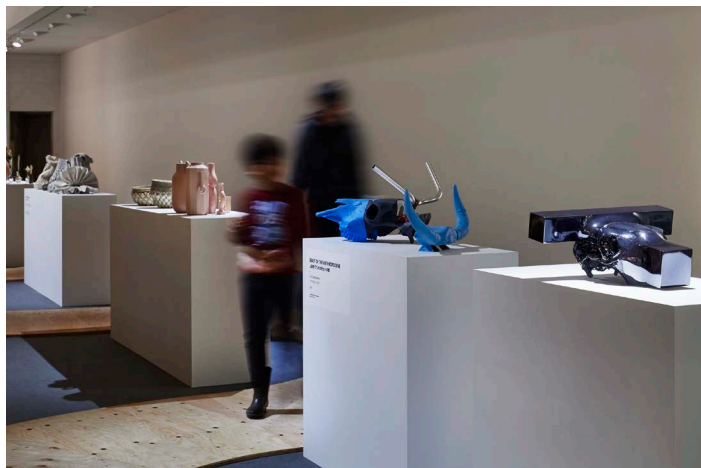
パートナー カントリー

ISRAEL

歴史や伝統に、最新テクノロジーを生み出すエコシステムの両方が溶け合う場所として、デザイン業界でも独自のDNAを育ててきたイスラエルをパートナーカントリーに迎え、展示Garden of Edenを実施。

太古から人類を支える資源である小麦を使ったシャンデリアと死海の塩の舞台を中心に、エルサレム・デザイン・ウィークより12の作品が青山スパイラルに展示されました。人類が創生されたエデンの園をデザインの起源の園に見立て、自然・文化・科学・歴史の側面からデザインされた作品が並びました。

新しくもとても人間に寄り添ったイスラエル独自の文化や精神を知り、触れる機会となりました。



© Nacása & Partners

OFFICIAL CONTENTS

オフィシャルコンテンツ

DESIGNART GALLERY at TENOHA代官山

デザイナー ガallery at TENOHA代官山

ライフスタイルストア、レストラン、カフェ、コワーキングスペース、プライベートオフィスが1箇所に集まった複合施設TENOHA。2019年10月をもって5年間の営業終了・閉館に伴い最後のイベントとして、デザインとアートの領域を超え、ボーダレスで自由な創造性を追求し続ける様々なクリエイターやアーティストによるグループ展を実施。

昨年4月にオープンした「TENOHA Milano」をはじめ、海外に向けた架け橋となりました。

参加作家: Triple A, 大沼 敦, Enza Migliore, FIL, HAFT DESIGN, Katsuki Connection
荒木 宏介, 炭酸デザイン室, TARAMAN+, TIMON



OFFICIAL CONTENTS

オフィシャルコンテンツ

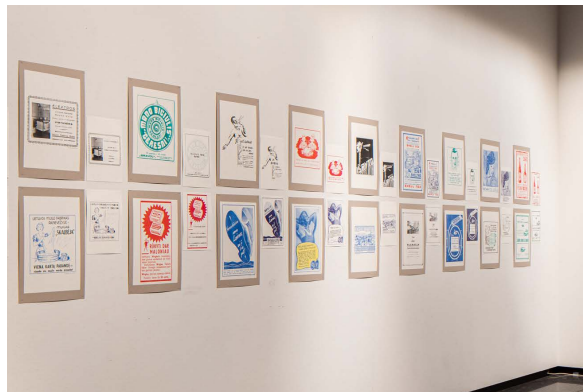
DESIGNART GALLERY at 新宿パークタワー

デザイナーアート ギャラリー at 新宿パークタワー

今年で開館25周年を迎えるリビングセンターOZONEが、DESIGNART TOKYOの新エリア新宿にて初参加。1Fのギャラリー内では、スウェーデンとリトアニアより複数のデザイナーやアーティストが各国それぞれの最新作品を展示。

革新的なヨーロッパのクリエイティブマインドを肌で感じることができる展示となりました。

参加作家：Euthanasia Coaster, Interwar Poster Ads, Four Lithuanians, Code of Freedom 1991, Ignorance is a Bliss
Stina Randestad, Rob Curran, Jan Klíngler



SALES RECORD

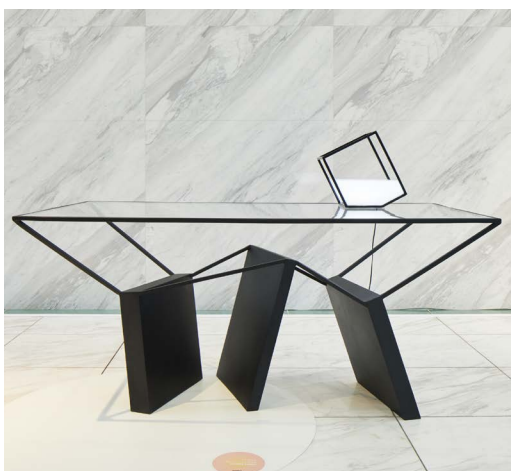
販売実績

総額 約2,000万円 販売作品点数 718点 (有効回答 23会場)

展示作品の販売も好調で、数万円から数百万円の規模でアート作品やデザインプロダクトの販売が奮っています。日本のデザイン・アートシーンが世界に台頭していく気運の高まりが表れています。

Nissa Kinzhalina

1% for Art EXHIBITION at ワールド北青山ビル



MAD DOG JONES

DIESEL ART GALLERY



山本滋己

1% for Art EXHIBITION at ワールド北青山ビル



大蔵山スタジオ

KASHIYAMA DAIKANYAMA



高山夏希

Brooks Brothers Aoyama



二俣公一

Artek





EXHIBITOR

出展者

Designer / Artist

AIKA NISHIYAMA
ALVIN T
ANDREA MANCUSO
APIWAT CHITAPANYA
ASAKO TAKI
ATSUSHI ONUMA
ATSUSHI SHINDO
AYA SASAKURA
BINGQI LEE
CHIALING CHANG
CHIHARU SHIOTA
CHRISTIAN BOLTANSKI
DAI FUJIWARA
DAISUKE AKIYAMA
DAMIEN HIRST
ENZA MIGLIORE
FUMIHIKO SANO
GAKU TAKASU
HAMID SHAHI
HANAKO YOSHIDA
HIDEMI NAKANIWA
HIDEYUKI NAKAYAMA
HIROSHI SEO
HIROYUKI NISHIMURA
HOKUTO KATSUI
HOUSAI MATSUBAYASHI
ISMAIL BAHRI
JAY CHUNG & Q TAKEKI MAEDA
JIN KURAMOTO
JOHNNY CHIU
JUN MURAKOSHI
KAORI AKIYAMA
KAZUAKI SEKI
KAZUKI KUMONO
KAZUNAGA SAKASHITA
KENJI ABE
KIZUKI NAKANO
KOHEI KYOMORI
KOHEI NAWA
KOICHI FUTATSUMATA
KOICHIRO ONIKI
MAD DOG JONES
MADE THOUGHT
MAI SHISHIKURA
MAI YUKIHARA
MASASHI HIRAO
MASAYUKI KUROKAWA
MIYU IKEDA
NAO TSUDA
NATSUKI TAKAYAMA
NISSA KINZHALINA
NORIIHIKO TERAYAMA
PAOLA NAVONE
RAW-EDGES
RYOKO UEYAMA
SATOSHI ITASAKA
SHIGEKI YAMAMOTO
SHIGEO MASHIRO
SHINSUKE YOSHITAKE
SHORYU HATOBA
SHUN KAWAKAMI
SHUNJI YAMANAKA
TAKUTO KURASHIIMA
TEAM BALANCO
TOSHIO IEZUMI
VIVIDEEP UNO
YOHJI HATOBA
YOKO FRAKTUR
YOTA KAKUDA
YU NAGABA
YUKIO HASHIMOTO
YUKO NAGAYAMA
YURI UENISHI
YUTAKA HIKOSAKA
...and more

page: 11.

Brand / Company / Gallery

A.PETERSEN
ACTIU
ACTUS
AGC
ANOVA DESIGN
ANREALAGE
AO.
AQUACLEAN
ARAKAWA GRIP
AREA
ARFLEX
ARTEK TOKYO STORE
ARTELESS
ATELIER KIKA
AXIS
B-SIDE
B&B ITALIA TOKYO
BA-TSU ART GALLERY
BALMY CAFÉ
BESTILE
BRONZE ROOM J
BROOKS BROTHERS AOYAMA
BUBBLE LAB
BUNKITSU
CALL
CONDE HOUSE
CARL HANSEN & SØN
CASSINA IXC.
CLASS
CLEANUP
COOL HUNTING
CRÉATION BAUMANN
DAIKANYAMA T-SITE GARDEN GALLERY
DAIKANYAMA TSUTAYA BOOKS
DIESEL ART GALLERY
DIESEL LIVING
DOINEL
DOTCOM
DRIADE
DS STORE TOKYO
DUNE
EMBASSY OF ISRAEL
EMBASSY OF SPAIN
EMBASSY OF SWEDEN
EMBASSY OF SWITZERLAND IN JAPAN
ESPACE LOUIS VUITTON TOKYO
ESTIC FORMAX
EXPORMIN
FERRAGAMO GINZA
FIL
FLOOVER
FONTANAART
FORMAX
FRAMA
FRED PERRY
FUJIFILM
GANDIA BLASCO
G GIFT AND LIFESTYLE
GEORGE CREATIVE COMPANY
GERVASONI
GINZA MAISON HERMÈS
GOOGLE
GRAND SEIKO
HAY
HAKUTEN
HIDA
HONDA ADVANCED DESIGN STUDIO TOKYO
HOTEL KOÉ TOKYO
IFS FUTURE LABORATORY
IMG SRC
INTERSECT BY LEXUS - TOKYO
ISIMAR
JACADI PARIS
JING
K PLAZA
KARAKTER
KASHIYAMA DAIKANYAMA
KATE SPADE NEW YORK
KATSUKI CONNECTION
KNOLL
KOKUYO DESIGN WORKSHOP 2019
KOLOR
KOSHIN PLANNING
KYOGEN
LALIQUE
LIVING DESIGN CENTER OZONE
LIXIL
LLOYD'S ANTIQUES AOYAMA
LOHACO
M0851 GINZA
MAGIS
MANU MOBILES
MARUMASU
MATERIAL CONNEXION TOKYO
MITSUI CHEMICALS
MORI ART MUSEUM
MORIOKA SHOTEN
MUNI
NIESSING
NOMLAB
NOMURA
NON-GRID
ODAKYU SOUTHERN TOWER
OKURAYAMA STUDIO
ONFADD
ORANGE BRAINERY BY ORANGE AND PARTNERS
PERRIER-JOUËT
PETIT BATEAU
POST
PROPELLAHEART
RATIO&C
REAL STYLE
RENOVERU.
RHYTHM WATCH
ROCHE BOBOIS
SEISHO-EN
SELLEX
SEMPRE
SHIBUYA HIKARIE
SHISEIDO GALLERY
SOMARTA
SOMEWHERE TOKYO
SPIRAL
STUDIOART
TAKEO KIKUCHI
TAKRAM
TENOHDA DAIKANYAMA
THE GINZA SPACE
THE MICRO MUSEUM AOYAMA
THINK OF THINGS
TMH.&L'INTERIEUR
TOKYO MIDTOWN
TOKYU PLAZA GINZA
TOMORROWLAND SHIBUYA
TORAYA
TORY BURCH
TUPERA TUPERA
TURN TABLE
UNBUILT TAKEO KIKUCHI
VALCUCINE
VIA BUS STOP MUSEUM
VICCARBE
VOLVO STUDIO AOYAMA
WAKABAYASHI BUTSUGU
WEWORK
WHY JUICE?
WORLD KITAAOYAMA BLDG.
YOKOHAMA MAKERS VILLAGE
21_21 DESIGN SIGHT GALLERY 3
(RE)PICTURE

OPENING EVENT OPENING CEREMONY

開会式

DESIGNART TOKYO 2019 開幕

東京都知事 小池百合子氏をゲストに、今年のパートナーカントリーであるイスラエル駐日大使 ヤッフア・ベンアリ氏や今回のメインエキシビジョン DESIGNART Featureのキュレーターであり Design pierのファウンダーであるゾフィア・イロヴァイ氏、Googleハードウェア部門バイスプレジデントのアイビー・ロス氏を迎え、オープニングセレモニーをワールド北青山ビルで開催しました。



OPENING EVENT OPENING PARTY

オープニングパーティー

OPENING CEREMONY

第1部はアイビー・ロス、リドヴィッチ・エデルコート、木田隆子 3名のトークセッションを招待客限定で実施。
続いて第2部は、フリーエントランスにて約1,000人以上が来場し、デザイン・アートの様々な業界関係者が夢中になって交流する場となりました。



SESSION

オープニングイベントの最後に設けられたセッションは、世界中から集まったさまざまなジャンルのクリエイターや業界関係者が、業種や国籍の垣根を越えて出会い交流できる自由な時間を提供しました。昨年に引き続き、ペリエ・ジュエによるシャンパーニュが振る舞われました。



PECHAKUCHA NIGHT SPECIAL

20枚のスライドを1枚につき20秒ずつプレゼンテーションする東京発、世界1,000都市以上で開催されているイベントのDESIGNARTスペシャルバージョンを昨年に続いて開催。今回もデザイン / アートとファッションの世界から、第一線で活躍するプレゼンターが登場。

丹治基浩 / デザイナー
アンドレア・マンクーゾ / デザイナー
ダニエル・ナミアス / デザイナー
パー・ホロウィッツ / デザイナー
瀧 亜沙子 / アートディレクター
チアラ・リメラ / モノクル・エディター



DESIGNART CONFERENCE-BRIDGE-

デザイナー カンファレンス ーブリッジー

変化する社会や訪れる未来に向けて、考え・学び・意見を交換するクロストーク

BRIDGEと題して、カンファレンスを10月20日に開催。今回のメインテーマは”1%から世界を変える”。

実際に1%の熱い思いを考え、アクションに起し、ひとつずつ活動を重ねている豪華登壇者により計3回のトークセッションを行いました。登壇者による、ものづくり・社会・アートそれぞれの未来を見据えたアイデアや情熱に来場者の皆様に大好評いただきました。聞き手も周囲の人とコミュニケーションをとれるような誘導をすることで、質疑応答を含め充実した内容で盛り上がりを見せました。

登壇者：

1% for Future：

鈴木健之／株式会社 本田技術研究所
オートモビルセンター 主任研究員

山中俊治／東京大学生産技術研究所および情報学環教授、
デザインエンジニア

1% for Society：

太刀川英輔／NOSIGNER 代表
佐々木ひろこ／Chefs for the Blue 発起人
小野直紀／広告 編集長
小野裕之／greenz.jp

1% for Art：

ジョニー・チウ／建築家
ライアン・L・フッテ／アーティスト
ダン・カーリー／UAPプリンシパル
椿玲子／森美術館キュレーター

EPILOGUE：

椿玲子／森美術館キュレーター
DESIGNART発起人

会場：

WeWorkアイスパーク 1F

プログラムパートナー：

WeWork／本田技術研究所／Moleskine



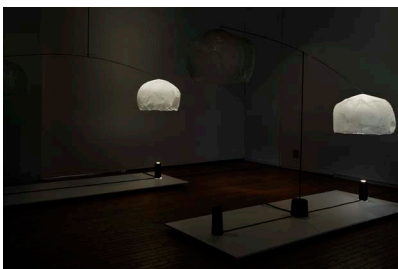
BIG EMOTIONS AWARD

ビッグ エモーション アワード

今年から新設されたDESIGNART AWARDは、発起人5組が審査員となり最優秀3組を選定し、その授賞式を26日パートナーカントリーのイスラエルの展示会場である南青山スパイラルにて行いました。受賞者は来年の東京五輪・パラリンピックのメダルケースをデザインした吉田真也氏が手掛けたトロフィー、BIG EMOTIONS AWARDを授与され、そのデザインはガラスの表裏で全く異なる色が光により現れデザインとアートいづれの受賞者にもふさわしい輝ける未来と美を表現した作品でした。また、授賞式の後はイスラエルの国民的歌手DIKLAのライブが行われ、最終日前夜を盛り上げました。



受賞作品



M&T

今年のUnder30にも選出された作品。

受賞理由コメント：小池博史

熱という自然現象によって実現するデザインが固定化されない、見る人によって感じ方が変わる面白さを持っています。昨今、動きのあるプロダクトというとデジタルがトレンドですが、多くの人が知る熱気球の原理を用いて、機械的なくみでそれを実現しています。

この組み合わせ・バランスが綺麗に作品へ落とし込まれている点がBig Emotions Awardにふさわしいと感じました。大人だけでなく子供が見ても幻想的で楽しめる、人を呼び込む力のある作品となっています。

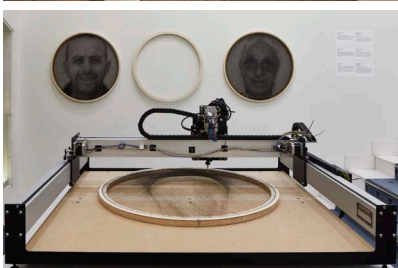


OKURAYAMA STUDIO

受賞理由コメント：青木昭夫

イサムノグチがこよなく愛した伊達冠石を使い、KASHIYAMA DAIKANYAMAで発表した大蔵山スタジオ。二千万年前の火山活動でできた石は手を加えなくてもただあるだけで美しく、プリミティブで強い存在感でした。

そして、NYのデザインギャラリー「Philia」の為に制作されたローテーブルはもはや彫刻。さらに柳原照弘氏による無骨な合板製の標本箱のような展示台で構成した展示によって、様々な表情をもった石に集中できました。また八木タ菜氏の撮影した、伊達冠石の表情を極厚の亚克力と合わせたアート作品は、石の持つ異次元の魅力を引き出していました。素材を活かした美食を食べているような展覧会でした。



ISRAEL : Jerusalem Design Week

受賞理由コメント：Klein Dytham architecture

豊かな緑と熟れた果実で溢れる本物の庭園のように、JDWの「エデンの園」は、素晴らしい作品の数々で私たちを魅了しました。伝統的な職人と若いアーティストとのコラボレーションが、より特別で魅力的なアートへと昇華させたように感じます。中でも、独自のアルゴリズムを取り入れたCNC工作機械により、オーディエンスの目の前で織りなされる「コモン・スレッド」は圧巻でした。

また、小麦による美しい雲と5トンものインパクトある白い塩のインスタレーションは、神話と歴史を直感的に連想させる作品であり、その空間で得た全ての経験が豊かで深みがあり、アートとデザインのあるべき姿や意味をもたらしてくれます。「エデンの園」は、まさに第1回目の受賞に相応しく、その価値を象徴する作品といえるでしょう。

TOOLS / SERVICE

制作物 / サービス

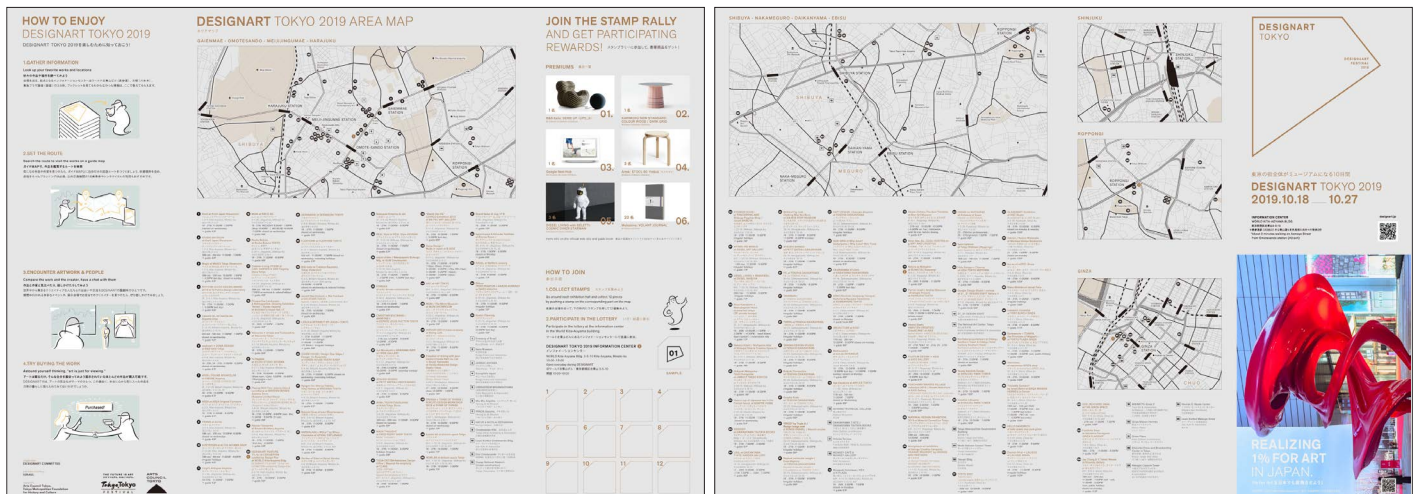
1. OFFICIAL TABLOID

事前告知用の20ページのオフィシャルタブロイドは、50,000部を都内約265箇所配布。
DESIGNART Featureに選ばれたDesign Pierのゾフィア・イロヴァイ氏のインタビューや注目の展
示情報、UNDER30に選出された若手クリエイターの紹介などを掲載しました。



2. OFFICIAL MAP

全展示会場を網羅したマップは、街頭配布も含め、50,000部を配布。
昨年に引き続きスタンプラリーを開催。スタンプラリー用の台紙としても使用しました。





TOOLS / SERVICE

制作物 / サービス

3.OFFICIAL GUIDE BOOK

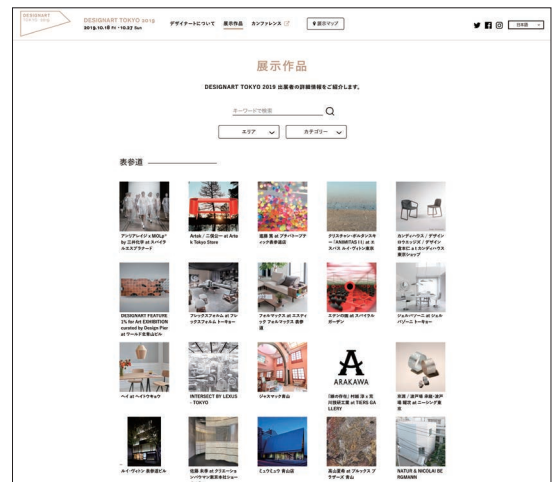
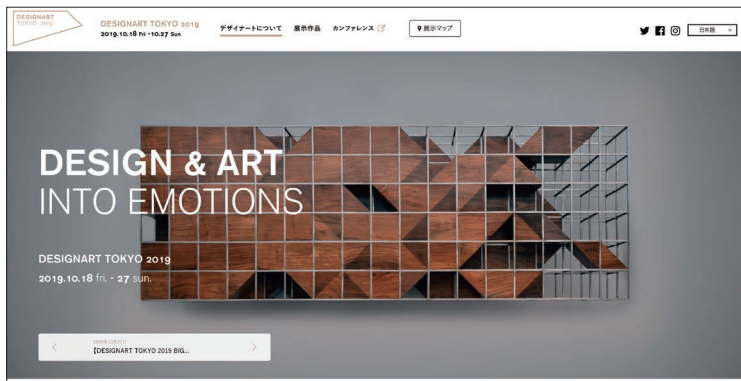
全出展者情報や出展者インタビューなど124ページの充実した内容のオフィシャルガイドブックは、20,000部を展示会場を中心に配布。



4. OFFICIAL WEB

日本語・英語に対応し、世界へ発信するオフィシャルサイト。出展者情報、建築マップ、各アーティスト・ブランドプロフィール、各出展者のイベント情報などオフィシャルガイドブックに載せきれない情報を網羅。

- ・約221,966ページビュー
 - ・約43,755ユニークユーザー
- (2019年10月1日~10月31日・月間実績)

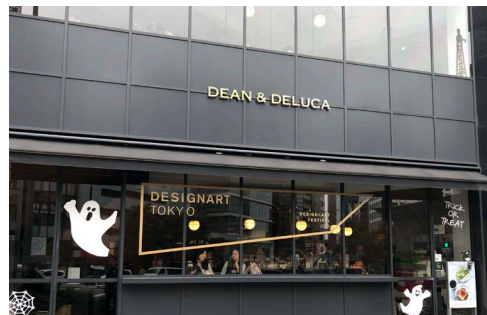


TOOLS / SERVICE

制作物 / サービス

5. OFFICIAL CAFE

展示巡りの休憩ポイントとしてDEAN&DELUCA 3店舗をオフィシャルカフェとしてご用意。DESIGNART TOKYO 2019オリジナルドリンクを提供したり、ドリンクのサイズアップサービスなどを行ないました。



6. INFORMATION CENTER

インフォメーションセンターをワールド北青山ビル、文喫、東急プラザ銀座ビルの3ヶ所に設置。オフィシャルガイドブックの配布、近隣の展示情報の案内、スタンプラリーの応募場所などとして展開しました。





TOOLS / SERVICE

制作物 / サービス

7. OFFICIAL GOODS (SIGN, CUTTING SHEET, OFFICIAL T-Shirts)

オフィシャルフラッグは、サインやディスプレイのプロ集団である光伸プランニングが制作。ブラックとメタリックゴールドをベースにした、視認性を高めたりパーシプル仕様にリニューアル。なお、昨年まで使用していたフラッグとフラッグスタンドも継続利用。

DESIGNARTのコンセプトである持続可能性を表現しています。

展示会場のウィンドウやドアおよび壁面用のサインとして、DESIGNARTロゴのカuttingシートを中川ケミカルにて制作。街中を回遊しながら会場を巡る際の目印となっています。

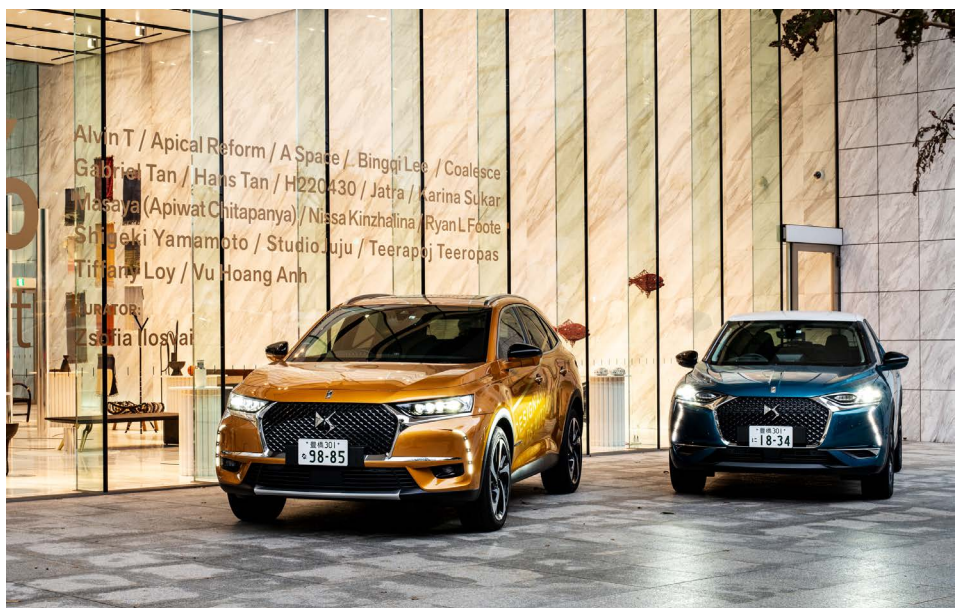
オフィシャルTシャツは、ロゴをアレンジ。ブラックベースにゴールドのDESIGNARTロゴを大きくあしらった、シンプルながらインパクトあるデザインに仕上がっています。

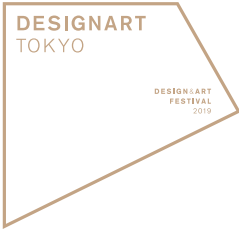


8. OFFICIAL CAR

今年のオフィシャルカーとしてDS AUTO MOBILESのDS 3 CROSSBACK、DS 7 CROSSBACKが会期中の街を走り、DS 3 CROSSBACKはワールド北青山ビル前にも展示されました。

テクノロジーとラグジュアリーが融合する最新のSUVであるDS 3 CROSSBACK、DS 7 CROSSBACKは、モダンアートのような、あるいはメタリックな彫像のような、彫りの深い風貌を特徴とし、挑戦し続けるフレンチデザインを表現しています。





t design & art festival 2019

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

掲載数：約 170 媒体(新聞 / 雑誌 / WEB / ラジオ)

国内外メディアパートナーが昨年の 12 媒体(メディア)から 16 媒体(メディア)へ

DESIGNART TOKYO 2019の一番の特徴はメディアパートナーとして、グローバルメディアの参加が昨年の2媒体から8媒体に増えた事が挙げられます。これはDESIGNART TOKYOに対する海外からの注目の高まりを実感できる動向であり、参加クリエイター、ブランド、企業等、東京から世界へその素晴らしさを共有し発信するという、DESIGNARTの活動が確実に前進している事を意味しています。

国内メディアに関しては、これまでのインテリア・デザイン・アート等に特化したメディアだけでなく、ファッション・ライフスタイル・専門誌・インフルエンサーによる投稿など、より幅広いジャンルの掲載が見られ、国内での認知度の更なる高まりも感じさせられる結果となりました。

例

- The Artling
- designboom
- Wallpaper magazine
- The japan times
- artprice
- MERCI MEDIA
- Supoon&Tamago
- J-WAVE
- ELLE DECOR
- pen
- Casa BRUTUS
- WWD JAPAN
- Fashionsnap.com
- 商店建築
- 六本木未来会議
- 美術手帖
- Fashion Press
- GINZA
- AXIS web magazine
- ELLE ONLINE
- METROPOLIS
- TOKYO ART BEAT
- Número
- LEE web
- MEN's Precious
- Pen
- anan

主要媒体例



and more...



PRESS

掲載実績

1. 紙媒体

WWD JAPAN



NIKKEI The STYLE



ELLE DECOR



陶業時報



DISCOVER JAPAN





t design & art festival 2019

w www.designart.jp

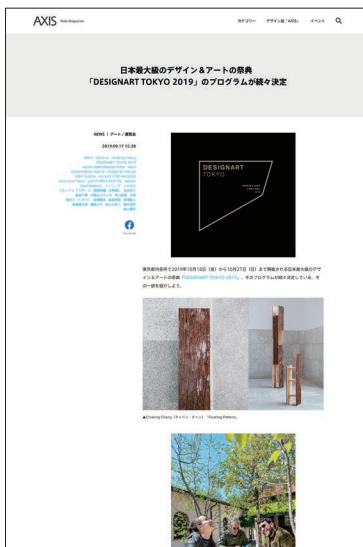
m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

2. WEB 媒体

AXIS web magazine



美術手帖



FASHIONSNAP.COM



Casa BRUTUS



SHIFT



WWD JAPAN





t design & art festival 2019

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

3. International PR

海外メディアへのPRは、メディアパートナーを中心に会期前から世界に向け発信を行い、会期中は各メディアそれぞれの目線での記事の掲載に至りました。

海外メディアからのフィードバック

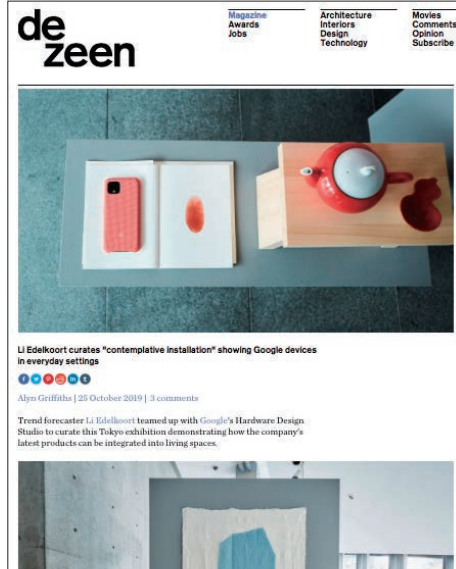
designboomより

イスラエルのエルサレム・デザイン・ウィークの展示を取り上げた記事がその週一番アクセスされた記事の一つとなったと嬉しい報告が届いています。

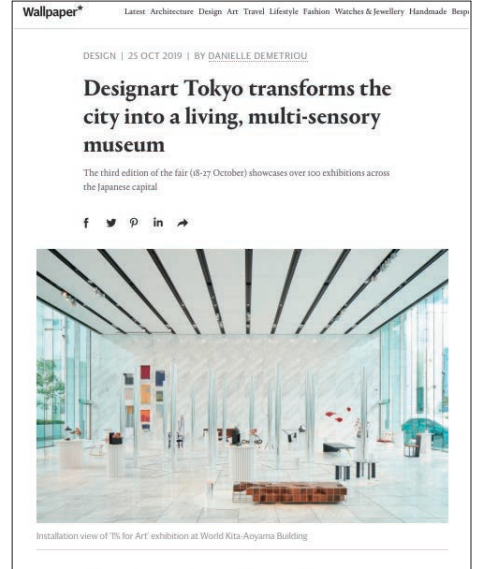
メディア掲載総評

dezeen, designboom, The Japan Times, Wallpaper, Design Milk等の著名なグローバルWEBメディアに掲載されると共に、SNSを中心に個人で活動をしているメディアやインフルエンサーからの掲載も増えており、より多様なメディアからクオリティの高い情報が世界に向けて発信されました。

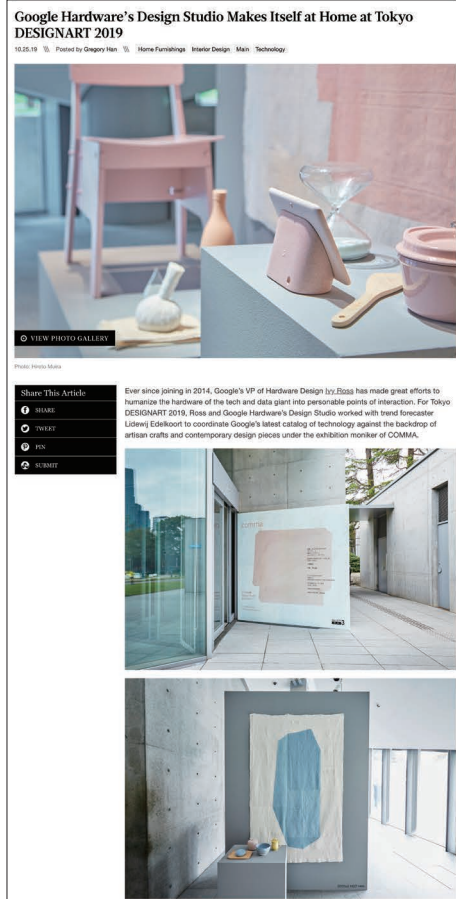
dezeen (WEB媒体)



Wallpaper



Design Milk



designboom (WEB媒体)



The Japan Times (WEB媒体)





t design & art festival 2019

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

Facebook

リーチ数：243,575

Instagram

期間中いいね数：5,322 (投稿数131)
今年度のフォロワー数が
約1,970から約3,500に増加

Twitter

ツイートインプレッション数：217,795





CREDIT

クレジット

主催

デザイナーズ実行委員会

パートナーカントリー

イスラエル

助成

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京

協賛

Artek
AYUMI GALLERY / CAVE
DesignSingapore Council
DS AUTOMOBILES
Google
Hansen House, Center for Design,
Media and Technology
株式会社本田技術研究所
Jerusalem and Heritage
Jerusalem Design Week
Jerusalem Development Authority
Netafim
Perrier-Jouët
Ran Wolf, Urban planning and project
management Ltd.
SivanS 株式会社
Stratasy Ltd.
早稲田大学建築学科山村健研究室
株式会社ザ・ギンザ
東京ミッドタウンマネジメント株式会社
ボルボ スタジオ 青山
YSLA Yamamura SanzLaviña Architects

協力

AGC株式会社
株式会社アマナデザイン
AMAN KYOTO
B&B Italia Tokyo
文喫 六本木
ティーン&デルーカ カフェ
ディーゼルジャパン株式会社
一般社団法人日本ファッション・ウィーク
推進機構
カリモク家具株式会社
株式会社 光伸プランニング
MATSUMIDORI BREWERY CO., LTD
MOIWA RESORTS OPERATION GK
Moleskine
株式会社中川ケミカル
PLUSTOKYO
日本仕事百貨
スパイラル / 株式会社ワコールアートセンター
株式会社 竹尾
東急プラザ銀座
WeWork
株式会社ワールド
株式会社ワールドプロダクションパートナーズ
株式会社ワールドスペースソリューションズ

メディアパートナー

Artprice.com
Asia Art Biennial
design anthology
designboom
dezeen
ELLE DECOR
FASHIONSAP.COM
I'm home.
Merci Media
SHIFT
商店建築
Spoon & Tamago
The Artling
Tokyo Art Beat
tsunagu Japan
WWD JAPAN

後援

イスラエル大使館
港区

後援(メディア サポート)

J-WAVE 81.3 FM

発起人

青木 昭夫 / MIRU DESIGN
川上 シュン / artless Inc.
小池 博史 / NON-GRID/IMG SRC
永田 宙郷 / EXS
マーク・ダイサム / Klein Dytham architecture
アストリッド・クライン / Klein Dytham architecture

DESIGNART 実行委員会

Director
谷川 公朗
Creative Director
青木 昭夫 / MIRU DESIGN
PR Manager
山田 梨加
Coordinator
山崎 陽子 / Knot Japan

小野 敬
渡辺 紀陽美
木村 咲子
児玉 香織

DESIGNART メンバー

Art Director
川上 シュン / artless Inc.
Designer
植野 かなこ / artless Inc.
福岡 康之 / LABORATORY Inc.
佐藤 良平 / LABORATORY Inc.
WEB Creative Director
小池 博史 / NON-GRID / IMG SRC
WEB Director
西 拓哉 / NON-GRID
WEB Design & Coding
岡本 順一 / jojodesign inc.

久山 幸成 / Klein Dytham architecture
藤木 ゆみこ / Klein Dytham architecture
吉川 優子 / Klein Dytham architecture
谷所 和歌子 / MIRU DESIGN
佐々木 紀子 / MIRU DESIGN
榊原 理花 / MIRU DESIGN
河崎 知子
吉田 けえな
藤井 美帆
高橋 理佳子
岡崎 舞

プレス

吉田 愛
小高 妃登美 / REHEARSAL

インターナショナル PR

マーティン・ウェブ / COMMUNION
山内 敦 / COMMUNION
川島 薫 / COMMUNION

オフィシャルガイドブック

Editor in Chief
石井 俊昭 / river
Supervisor
割田 正人 / river
Photographer
柏谷 匠
湯浅 亨

ライター

宮本 裕人

イラストレーター

Hama-House

翻訳

テランス・ヤング
牧尾 晴喜 / Fraise Craze Inc.
森川 弥生 / Fraise Craze Inc.

フォトグラファー

千葉 圭子 / Nacása & Partners
森石 風太 / Nacása & Partners
金 東奎 / Nacása & Partners
菅野 佳生 / Nacása & Partners
荒井 章 / Nacása & Partners
末吉 さくら / Nacása & Partners

映像

宮下 直樹 / Terminal81 Film
若狭 真司 / 未音制作所

サポートメンバー

生駒 芳子 / Fashion Journalist
ウィリアム・トー / Hong Kong PMQ
金山 淳吾 / EVERY DAY IS THE DAY
グエナエル・ニコラ / CURIOSITY
熊谷 正寿 / GMO Internet, Inc.
佐藤 達郎 / DELFONICS
遠山 正道 / Smiles Co., Ltd.
横川 正紀 / WELCOME Co., Ltd.
吉田 瑞代 / Steady Study Ltd.

EVERLASTING MEMBER

竹内 大

ボランティアスタッフ

青木 香保里
新垣 ともか
池田 奈津
石井 沙季
石原 穂乃香
岩崎 明衣
江藤 敦美
大木 あずさ
大熊 蘭
大塚 恵美里
織田 笑里
カロス・フランシス・フェルナンデス
加藤 なつみ
河上 直美
コ テンゲツ
小林 彩香
佐久間 結梨
佐々木 勇仁
瀬戸 直子
高橋 美幸
高橋 弥々花
武井 彩希
田島 琢巳
前田 遥
松尾 実貴子
松下 晃大
松本 夏美
水野 まみ
矢野 海
吉葉 颯花